

令和6年生駒市教育委員会

第7回定例会 議案

令和6年7月22日

生駒市教育委員会

令和6生駒市教育委員会(第7回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第8号	臨時代理につき承認を求めることについて(熱中症予防・対応マニュアルの改定について)	1
報告第9号	令和6年生駒市議会第3回(6月)定例会提出議案の結果について	2
報告第10号	令和6年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について	3
報告第11号	令和6年度小学校・中学校訪問の結果について	8
議案第24号	生駒市いじめ防止等対策審議会委員の委嘱について	32
議案第19号	令和6年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について	34

報告第8号

臨時代理につき承認を求めることについて

(熱中症予防・対応マニュアルの改定について)

熱中症予防・対応マニュアルの改定について、教育委員会を招集するいとまがなかったため、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号)第5条第2項の規定により、令和6年6月28日に、別冊のとおり臨時に代理したので、これを報告し、承認を求める。

令和6年7月22日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

報告第9号

令和6年生駒市議会第3回（6月）定例会提出議案の結果について

令和6年生駒市議会第3回（6月）定例会提出議案の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第1号の規定により、次のとおり報告する。

令和6年7月22日提出

生駒市教育委員会
教育長 原 井 葉 子

【提出議案】

- ・ 令和6年度生駒市一般会計補正予算（第2回）

【審議経過】

令和6年6月5日 開会
令和6年6月14日 予算委員会（厚生文教分科会）
令和6年6月19日 予算委員会
令和6年6月25日 再開

【結果】

原案のとおり可決

報告第10号

令和6年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について

令和6年度幼稚園・保育園・こども園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、次のとおり報告する。

令和6年7月22日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

＜令和6年度定期幼稚園・保育園・こども園訪問報告＞

1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園・こども園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園・こども園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園運営が推進できるよう支援する。

2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者
俵口幼稚園	5/16 9:00～	中川委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
あすか野幼稚園	5/23 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
ひがし保育園	5/27 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
小平尾保育園	5/29 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
南こども園	5/29 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
認定こども園 生駒幼稚園	6/26 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
生駒台幼稚園	6/26 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
桜ヶ丘幼稚園	7/3 9:00～	中川委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
中保育園	7/3 9:00～	中川委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
なばた幼稚園	7/17 9:00～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事
壱分幼稚園	7/17 10:30～	中川委員・吉尾委員・原井教育長・楢田部長・松田次長 長崎指導主事・牧野指導主事

3 園からの説明の概要

<幼稚園>

<p>俵口幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を常に念頭に置きながら、丁寧な保育を進めていく。また保護者にも子どもたちにも教育目標を伝えていけるよう、発信方法や表示方法を工夫している。 ・「えん・くろす」の活動の一つである出張図書館を継続して行っていることで、子どもたちも保護者も本に触れる機会が増え、小学校での図書室利用率が高まっている。また、昨年度の実績を活かしながらさらに充実したものとなるよう、地域や保護者とともに、協働して子どもたちの豊かな体験活動が積極的に進められている。 ・週1回の保育室「きらきらるーむ」開放を行い、未就園児親子が地域で交流できる場にしていきたい。
<p>あすか野幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立していけるように、あすか野幼稚園の頭文字から5つの『あ』を設定し、「あさごはん」「あいさつ」「あそぼう」「ありがとう」「あるこう」を大切にしている。 ・今年度より学校運営協議会を発足し、地域・保護者・園がつながりを深め取組を進めている。 ・『SDGs』の目標を達成するために身近にできることを子どもたちと一緒に考えながら進めている。 ・未就園児の集いの場に施設を利用したり、保育室開放を行ったりして園の様子を知っていただく機会を設けている。また、自治会の回覧を行い、園の取組を地域に情報発信している。
<p>南こども園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な環境のもと、園児が主体的に“やってみたい”“知りたい”“面白い”と心が動き、学びへと繋がるような環境や援助の仕方を工夫しながら教育保育に取り組んでいる。 ・少人数での、教育と保育の改善・方向性についての研修や、職員一人一人が講師となり得意分野を他の職員にも広げていく場を設ける等、独自の研修体制を確立し、研修を通し人材育成、特にミドルリーダーの育成に力を入れている。これらの内容は、10月30日に実施される就学前教育職員研修会において実践発表を行う。 ・未就園児の集い(ぴかぴかひろば)・地域の子育てサークルへの遊びの提供や支援の実施を行う。
<p>認定こども園 生駒幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1号認定児・2号認定児が在籍するこども園として、教育と養護の役割を果たせるよう再認識しながら園運営を行っていききたい。複数担任制のため職員数が多く、情報共有の方法が課題である。 ・保護者は、こども園の教育に理解し協力的である。育友会活動では役員会をZOOMで行ったりDropboxで共有したり、仕事をしている保護者同士が活動しやすいようにITを活用して行われている。 ・預かり保育の利用者増加に伴い、職員シフトの対応を行っている。 ・スムーズな就学や地域愛を育むため保育園・小学校・中学校との交流やつながりを深められるよう計画をしている。また、小規模保育園の連携園としての交流も行っている。

生駒台幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育目標を子どもたちも意識できるように機会を見つけて話をしていきたい。また、保護者には、日々の保育について丁寧に伝える大切さを感じると共に、発信方法を工夫している。 ・支援を必要とする子どもたちへの支援方法について、外部講師を招いて職員研修を行い、共有することでよりよい支援につなげていきたい。 ・体力向上を目指した活動を計画的に取り入れる。 ・奈良県就学前教育研修会での公開保育に向けて、子ども一人一人の人権を尊重する保育の充実やすべての子どもに質の高い教育が行えるよう、いろいろな方法を取り入れた研修を進める。
桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・全園児徒歩通園である利点を生かし、写真掲示や保護者とのさくらっこトーク、スライドショーを用いて、日々の保育活動をはじめ体力づくりや食育活動を柱とした教育活動の見える化について検証し工夫して進めている。 ・わくわくコーディネーターを中心に「先生のやってみたい！」と「子どものやりたい！」をつなぎ、主体的な取組を推進している。 ・小学校の職員と交流し、接続カリキュラムに基づき、それぞれの生活を知ることから滑らかな接続につなげていきたい。 ・未就園児の集いは、保育見学ツアーやぺちやくちやタイムなど新たな取組を行うなど内容を工夫している。
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・「えん・くろす」の活動を教育課程に位置付け、地域、保護者と協働し、教育活動の充実を図っている。 ・日々の遊びの取組を大切にすると共に、少しでも大きな集団で活動できるよう、異年齢交流の充実や地域の園との交流を図っている。 ・職員数が少ない中でもスムーズに業務をこなせるよう、会議の進め方、ノートの活用等、工夫しながら業務の効率化を進めている。 ・小学校へのスムーズな就学を目指して接続カリキュラムをもとに年間計画をたて、幼児と児童、職員間で交流を進めている。今年度より小学校の空き教室を連携ルームとして活用し、交流方法を工夫していく。
壺分幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な園生活を送る中で、豊かな心、遊びへの興味、自分も友達も大切にできる心をはぐぐんでいけるような保育を進める。 ・月1回のあいさつ運動に園児も参加している。地域の保育園やいこま福祉会、小学校との交流を引き続き行い、老人会、地域力を活かしながら人と関わる力を育てていきたい。 ・未就園児の集いの内容を工夫したり、週2回保育室開放を行ったり子育て支援を推進している。 ・R9年度のこども園化に向けて、保護者、地域、未就園児保護者への丁寧な説明行ったり見通しをもった計画をたてたり、課と協力して進めていきたい。

<保育園>

ひがし保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も子どもの興味・関心に合わせて、自然物を使った染物遊びや、牛乳パックやペットボトルを利用したりサイクルおもちゃ作りなど、SDGsを意識した取組を展開している。 ・異年齢交流や地域との交流、高齢者施設訪問等、園内外の様々な人とのふれあいや体験を通し、人と関わる力・生きる力を育てる。 ・各クラスにおいて園内研修や自己評価チェックシートを活用した研修を行い、資質向上のための研修の充実を図る。また、得意分野を活かした活躍の場や苦手分野の克服に前向きに取り組める場として、職員が自主的に計画・進行を行うチーム活動を行っている。
小平尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の願いにより開園した思いをつないでいくため、職員劇等を通して、人権保育の取組の充実を図っている。 ・地域に根ざした保育園を目指し、地域の方との連携に力を入れている。人権文化センターや児童館ともコンサートの開催や避難訓練に参加していただく等交流を深めている。 ・研究保育・人権グループワークの実施、また職員それぞれがお薦めの絵本の読み聞かせを行う『職員ホッとタイム』の場を設け、職員の資質向上を図るための研修に力を入れている。
中保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生活し活動できる環境と家庭的な保育環境を考え、0.1歳児の育児担当制をすすめている。常に課題について共有し取り組んでいきたい。 ・小学校図書室訪問・生駒小学校での交流『あきあきランド』・給食体験等、保幼小接続として連携をすすめている。 ・地域に開かれた保育園ということで、東新町自治会や東寿会（老人会）の方との公園清掃、また民生児童委員さんとの世代間交流も行っている。 ・読書活動の促進及び読書週間の形成『リレーうちどく』は4年目となる。見直しを図りながらすすめていきたい。

報告第11号

令和6年度小学校・中学校訪問の結果について

令和6年度小学校・中学校訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、次のとおり報告する。

令和6年7月22日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

<令和6年度定期学校訪問報告>

1 目的

教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

2 小学校

①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒小学校	6/27	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、花山課長、三室室長、野村指導主事、金指導主事
生駒南小学校	6/28	原井教育長、楢田部長、中川委員、山本課長、花山課長、三室室長、池下指導主事、植田指導主事
生駒北小学校	5/8	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、花山課長、小泉指導主事、池下指導主事
生駒台小学校	5/15	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、山本課長、花山課長、中田課長補佐、小泉指導主事、植田指導主事
生駒東小学校	5/30	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、池原係員、小泉指導主事、池下指導主事
真弓小学校	5/15	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、山本課長、花山課長、中田課長補佐、小泉指導主事、植田指導主事
俵口小学校	6/21	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、野村指導主事、金指導主事
鹿ノ台小学校	5/8	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、花山課長、小泉指導主事、池下指導主事
桜ヶ丘小学校	5/31	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、飯島委員、レイノルズ委員、中川委員、吉尾委員、山本課長、花山課長、中田課長補佐、池原係員、野村指導主事、植田指導主事
あすか野小学校	5/20	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、飯島委員、レイノルズ委員、中川委員、吉尾委員、花山課長、中田課長補佐、小泉指導主事、金指導主事
壱分小学校	6/28	原井教育長、楢田部長、中川委員、山本課長、花山課長、三室室長、池下指導主事、植田指導主事
生駒南第二小学校	6/27	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、花山課長、三室室長、野村指導主事、金指導主事

②ヒアリング内容

	内 容
生駒小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESD（地域や学校の課題解決を図る協働活動を推進） ・ 市役所関係各課とも連携 ・ ESDの推進・身に付けさせたい資質・能力の明確化 ESDティーチャーの認定を取得 ・ ユネスコスクールキャンディデートとして取り組みを進める <授業改善> ・ 自由進度学習 複線型授業を目指す 書くことの活動が研究主題のため、少しずつ学校DXアドバイザーも活用 <開かれた学校作り> ・ 学校運営協議会・感謝の集い・IKOSHO フェスタ 2024 ・ 放課後子ども教室 90人（場所が課題）←ボランティアも10数名に手伝ってもらっている ・ 施設開放・グラウンド整備などにも寄与 ・ 保幼小連携 保育参観（今年度は昨年見学していない園を見学） ・ 生駒幼稚園長の講演（保育について） <居場所づくり> ・ オンラインによる授業参加 ・ 会議室への登校 給食のみを食べに来ている児童もいる ・ 放課後デイサービスとの連携、話し合いを行っている <その他> ・ 体育館フェンス、夏の完成 ・ 学童の環境が厳しい（施設面の課題）

<p>生駒南小学校</p>	<p><様式1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代の若手も増えてきた。男女比もほぼ同じなので学年を男女で組むことができる。 ・児童数も減少してきている。特に1年生は35人（うち2人が特別支援）減少により2年生から単学級になることが心配される。 ・長欠児童も多い。放課後等デイサービスとの連携で出席扱いしている子もいる。中学校との連携も。 ・不登校、基礎学力、保護者連携が長年の課題となっている ・教員の育成にも力を入れていきたい。危機管理の意識も。 ・長時間勤務が進んでいる。だいたい19時に退勤している。18時30分から管理職が声掛けしている。 ・専科と教科担任制、教材研究の時間を確保できるように。低学年から専科指導。 ・高学年の先生には空き時間が多いので空き時間のときには隣のクラスに入ってもらうなど複数で学級運営している ・産休育休の教員が5名、来年度復帰。講師も減ってくる。 <p><3本柱について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の課題、違う意見を持つ人と話すことが楽しいと思う児童が少ない。 ・「対話を通して互いの考えを認め合い、よりよい学びを実現する授業改善」を重点に置く。 ・自由進度学習を進め始めている。学校の実態にあったやり方を探ろうとしている。自分のペースで自分に合った学び方を子どもたちが選べるようになってほしい。 ・共同活動、放課後活動が軌道に乗り始めたが、地域人材が不足している。保護者世代の方々が少ない。 ・150周年イベント、学校開放を通じて関わる人を増やしていきたい。 ・小中一緒に地域の清掃活動、今年度は図書室を地域に開放する予定。それに合わせて小中それぞれの図書室でイベントを開催。 ・幼保との連携継続、互いに授業参観を実施予定。 ・ホームページやX、地域回覧を通して情報発信を。 ・通級指導教室の成果が上がっている。保護者にも安心感が出てきている。 ・ほっとルームやSC、外部機関と連携を進めながら不登校児童に対応していきたい。
<p>生駒北小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の特長を生かした指導体制。 ・家庭学習の充実。 ・不登校児童生徒への対策。 ・読書活動の推進を進める。 ・家庭や地域との連携。「茶釜の里」という地域性を生かした学習や奈良交通バスとの連携、地域の過去・現在・未来を見据えた学習を柱として。 ・教員のICT指導力の向上。 ・3つの柱…アクティブラーニングやペア学習、グループ活動、異学年交流。 ・子どもの自主性を伸ばすには、慌てず、焦らず、我慢して見守ることを職員に伝えていきたい。 ・学習目標の提示と振り返り、自主学習や教え合い活動。 ・地域に開かれた学校…地域の教育力を学校に。子どもたちの郷土愛を深めたい。 ・学校運営協議会、地域の方に子どもの姿を見ていただく。 ・道徳教育の充実…みんな違って当たり前。多様性。自他尊重の精神。自分事として考え、自分の答えを持つ。そして自分の行動に責任を持つ。 ・不登校、通級、しんどさをもった子どもたちの心に寄り添った指導を。教師は受容と共感を大切に。 ・地域共生社会を目指して…SDGsにも力を入れたい。

<p>生 駒 台 小 学 校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の数は徐々に減ってきている <p><様式1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要としている児童が多い。 ・市から様々なサポートを頂いているがそれでも人材が足りない ・前向きな声掛けを教師から児童、管理職から教師へ ・若手が増えている→育成が課題、今後学校をささえる人材になってほしい <p><資料5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価に基づいて次年度の課題設定を行っている <p><資料4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自律ができる学校づくり（授業の中でも主体的対話的を目指す） ・「歩いて行こう自分から」、「自分から自分らしく」（市の目指す教育とリンクさせている） ・授業改善についても進めていきたいが、現状まだまだ進んでいない ・子どもたちが自己肯定感を高める取り組みとして、子どもたちが行事運営を行うように心がけている ・挨拶を大事にしている 先生方と挨拶をすることで朝から気持ちいい挨拶が今年度はできるようになった ・国語を通してコミュニケーション力を高めている ・デジタル技術の力も自分のペースで高めている ・家庭学習の面において、児童、教師、保護者すべて課題を感じている ・信頼される学校のために、地域・保護者と連携 ・子どもの命を守る取り組みを大切にしている ・学校に行くことが楽しみと答える児童を増やしていきたい。 <p><3つの柱></p> <p>授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で力を伸ばせるように、国語の授業を通して行っている ・学年目標も自分から行動する内容になっている <p>地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守り、特別支援の児童は地域の方と畑仕事をしている ・クラブ活動にも地域の方に参加していただいている（茶道、科学） ・図書ボランティア→読み聞かせを復活させたい ・ウィンタースクールで昔遊び。子ども100名以上参加 ・放課後子ども教室で様々な企画を考えていただいている。負担のないようにしていただきたいという思いはある ・保幼少の連携→育てたい子ども像の共有 <p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で全児童に寄り添っていけるように。 ・すくすくルーム→不登校児童への対応 ・教科専科で空き時間ができた高学年の先生方に入って頂いている ・若手先生の教室にも行ってもらっている ・通級教室の希望者がに対して教員の数が足りない状況 ・のびのび、いきいきとの連携 →教師が児童の様子を分かっておく必要がある ・学校の組織体制を見直し、先生方の意識改革をしていきたい。連携は当然だが、各主任が責任を持って対応できるように。すぐに管理職とならないように組織としての厚みを持たせたい。 ・働き方改革→ベテランの先生方がまだ長時間勤務になっている
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の勤務形態についても様々な制度を活用している ・教科担任制も進めていきたいが時間割も含めて難しい。あまりに負担が大きければ担任制がいいという声が出るかもしれない。
生駒東小学校	<p><子どもたちの学び方、授業改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びについては、組織的に進んでいる状況ではなく、教員個々の対応に任せている状況。これを3年計画で進めていきたい。 ・今年度は教職員の意識の統一を図りたい。 ・市でも複数回研修会を実施していただけるとありがたい。 <p><家庭地域との連携<</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校教育への関心は強い。協力的な方も多い。 ・学校運営協議会と地域学校協働本部の役割分担を行い、それぞれの力を発揮していただける状況を作っていきたい ・地域と学校が一体となった取組を進め、子どもたちの豊かな学びや地域活性に繋げていきたい。 ・幼保との連携。給食体験。 <p><多様な居場所作り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校コーディネーターの設置とサポートルームの場所の確保。 ・不登校コーディネーター、生徒指導主任、管理職がチームとなり、近隣の学校を見学していきたい。

<重点目標>

①落ち着いたスタート

- ・授業を週時間1時間減らす→研修や授業作りに当てる
- ・校務分掌の変更4部会から6部会に→昨年上手く回っていなかった
- ・今年は校長先生が中心に計画→細分化してみても若手にも役割を与えている
- ・簡潔なものは縮小部会→全員なにかの役割を持つ
- ・ゆくゆくは低、中、高で分かれていけたら
→仕事量に差が出てきたという懸念の声あり

②PTAの組織のあり方を見直し

- ・地域ボランティアは熱心に活動してくれている。

③通級、保健室ユートィリティ教室の活用

- ・友人、教師のつながりが深くなりすぎて上手く活用しきれていない
- ・ユートィリティ教室を活用したいが保健室へ行くなど学校と保護者の思いがすれ違っている
- ・別室、保健室など対応場所が多すぎて人が足りていない
- ・心のケア担当とケガ対応の2人体制になってほしい

<教育目標>

【自分らしく生きる人間の育成】

- ・先生方が子どもを理解する
- ・学校生活を通して子どもをみる
- ・教材を通して
→研究主任は担当がやる気をもって取り組んでいる。
- ・保護者を通して
→保護者との積極的な会話を密にする。
- ・最近子どもを見ても保護者の様子が伺えない。
- ・地域を通して
→挨拶がしづらい児童には、しづらい背景があることについて、理解いただけるように、地域に説明をしていく必要がある。

【心の居場所】

- ・カウンセリングルーム、ユートィリティールーム（不登校対応）、第2保健室など空き教室を上手く活用していきたい

【職員間】

- ・学びの保証を優先していく時代、参加させないのであればその後のフォローをいかにしていくかを管理職が入って解決策を考えている

俵 口 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドデザインについて 考えをみがく 心をみがく 仲間とみがく <p><3つの柱></p> <p>【授業の研究と実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科担任制をより積極的に推進 高学年担任が複数の学級へ関わり ・ 加配を生かして、クラス規模を小さくできる。 ・ 担当教科を減らし、授業の研究時間を確保 ・ 学習の振り返り Form、AI の活用の試験的活用 ・ ICT の活用アプリの活用は日々常態化できている。 ・ ICT から児童の力を引き出す取り組みを行っている。 <p>【地域協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室たまねぎの収穫の様子 ・ 学校施設の社会体育への開放 ・ 情報発信、広報誌、X <p>【居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通級指導について (R6 から拠点校) ・ 学校評価について
鹿 ノ 台 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50年前にできた新興住宅地にできた学校。 ・ 学級数は年々減少。現在オール3クラス <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規範意識の向上…高学年が落ち着いて学べるように。安心・安全な学校を作る ・ 主体的・対話的で深い学びの推進…自分の考えを周囲に合わせてしまう子が多い。自分の考えを伝えることの大切さ。伝える力を伸ばしたい。 ・ チーム鹿小として指導と支援の学校体制…高学年教科担任制・専科。低学年における少人数指導担当。不登校や登校渋り、教室に入れない児童の対応。 ・ 「鹿小らしさ」についての共有と取組の推進…昨年度保護者と対話した。「鹿小らしい」取組を進める。「鹿小らしさ」を自覚し、職員と共有、保護者へ伝え理解を求める。 ・ 校舎の老朽化、施設維持管理の難しさ、職員構成（年齢・講師の多さ） <p><3つの柱></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT の効果的な活用、表現力、発信力、自ら考え学び合う児童の育成、教科担任制、理科専科教員の頼り、管理職と職員との対話 ・ 学校だよりやXなどを通しての情報発信 ・ 居場所づくりや見守る人員の確保の難しさ、通級指導教室の充実、校内での理解を進める、関係機関との連携、保護者を巻き込んだデジタルリテラシー ・ 学校の雰囲気明るくなった。チーム鹿ノ台そのもの。 ・ 保護者を巻き込んだデジタルリテラシー。子どもたちの授業に

桜ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の半数以上が20代の若手という構成 <3つの柱> 【あらゆる世代の主体的な学びの推進】 ・子どもたち一人ひとりが、<u>自分のペース</u>で自分にあった学び方を選択肢、必要に応じて必要な人とともに学び会えるような授業づくりの推進 ・教師自身も学びを進めていく必要がある、またわくわくしながら教材研究をしてほしい ・言語活動の充実 それに伴った研究主題 コミュニケーション等適切に伝え合うことが難しい状況にある 国語科の領域にとられることなく、さまざまな領域で研究を進める ・個別最適な学びと共同的な学びの実現 ツールとしてのICTの活用 ロイロノートにあるシンキングツールの活用 児童の思考を深めるために活用 ・学校教育目標 児童生徒の実態に応じた特色ある ・夢の実現にむかって努力しともに学ぶ喜びを味わえる子の育成 (自立と共生) ・ONE TEAM SAKURAGAOKA→みんなで取り組むためにスローガンとしている 知徳体は教育の根幹にある ・OODAループ→PDCAも大切にしながら観察、仮説考察、行動を意識して学校経営を図っている ・つながりを通して楽しく学べる地域であるために ・市民同士が<u>ゆるやかに</u>つながり、学び、支え会える基盤づくり →無理がないように、自分のペースで ・学校と園の連携を一層取り組んでいく ・地域の特性を生かした地域学校協働活動の推進 →様々な取り組みは個々で行われているが、横のつながりを充実させたい ・交通安全指導員懇談会→自治会館で行われた集いに校長先生も参加 ・地域の方ともいろんな情報交換ができた 自由に意見が出せる雰囲気広がっていた ・子供だけでなく、地域の方がみんな挨拶をしてくれる ・指導員の方の地道な活動が地域に広がっている ・地域や市民の活動拠点としての学校施設の利活用 ・気らくネット(寿生駒連絡協議会) ・かぼちゃ 大根 キャベツの栽培等 ・学校が目指す教育、取組についての情報発信、広報活動 ・更新できていないところもある ・少しずつ発信してこうと考えている ・地域の意見もクレームではなく学校が変わるチャンスと捉えている 【多様な学びを支える環境づくりのために】 ・校内サポートルームの設置→校長室の横(下駄箱の近く)、複数名が使用中 ・上手くステップアップができ、支援級、学級に入ったり行事に参加できる子も出てきている ・コミュニケーションも盛んになってきている ・通級指導、巡回指導→複数名が使用中 ・地域共生社会の実現に向けた関係機関との連携 ・放課後子ども教室の実施→今年度から ・職員の中にはどういう取り組みかを知らない教員もいたので説明を行い、打ち合わせを実施 2学期から稼働予定
--------	--

あ す か 野 小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の重点→学校要覧 ASKN ・安心安全・セルフエスティーム・規範意識・のびのび健康増進 ・当面の課題→県平均よりも学力調査は10pt以上あるが、自分の考えの発表は苦手 様式2 <p>学校運営協議会 10名</p> <p><3つの柱></p> <p>【授業改善について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のペースで自分にあった学び方を選択し、必要に応じて必要な人とともに学べるような授業づくりの推進 ・タブレットを非常に使いこなしている。校務支援も先進的に導入し職員が使いこなしている。 ・ミニ研修や終礼でも一緒に活動する ・体験活動も重視…急須でお茶をいれる体験 ・家庭で作成した料理を動画で提出 ・研究テーマ 自ら思考し、表現できる子どもの育成 協働的な学びを通して ・キャリア教育プランナーと連携し、SDGs、失敗を恐れないをテーマに実施 ・体作りあすか野パワー体操 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力輝く学校/地域づくり 県教育委員会表彰 ・地域学校協働本部が県の表彰を受ける ・放課後子ども教室まなびいや R6 170名参加 ・メンバーが多種多様で熟議・計画の立案がスムーズ <p>【居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認心理師の資格を持つ教諭中心にあすか野ルーム ・学習、談話、くつろぎの3つのスペースを確保 ・SC、子ども支援センターと連携 ・SCの配置日数を増やしていただけたら助かる ・コロナ禍を経て、学校の役割、学校でしかできないことを考えていく
---------------------------------	---

壱分小学校	<p><3つの柱></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生において体育の授業においてタブレットで自分の実技の様子を撮影し、確認、他者からの意見をもらっている ・ アイルーム→それぞれの居場所として活用している 入級には担任と保護者、本人と面談などを行って本人に合う合わないを確認して使用している ・ 学力向上→探究的な活動、学力テストの結果を反映していく、読書活動の推進、ICT活用 ・ 規範意識→学校生活の決まりやルールの明確化 ・ 集団づくり→アイルーム、県費 SC の活用 ・ 体力向上→外遊びをする子どもが少ない ・ 学校ボランティア総会→地域と保護者の連携を意識している ・ 「〇〇博士」になろう、を4月から子どもたちに声掛けしている ・ イブニング研修→金曜日の放課後に教師同士で研修している ・ 児童の実態等に応じた柔軟な教育活動 ・ 学校ボランティア総会→保護者の参加も増えてきている ・ 保護者と民生さんがミシンの使い方を教えてくださっている ・ 学校を拠点に福祉活動、体験活動 ・ 保幼少連携事業 ・ 生駒高校との連携 ・ 取組などを SNS を通して発信している ・ 総会や立番の方から色々な情報、課題が伝わってくる、今後はフィードバックも取り組んでいく ・ 教職員にカウンセリングマインドを ・ アイルーム、特別支援の児童についての理解を深める ・ 図書館も子供の居場所として協力してもらっている ・ 通級指導教室の充実 ・ 「チーム壱小」として、校内支援委員会の開催、高学年の教員が空き時間にサポート
-------	---

生 駒 南 第 二 小 学 校	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの課題を把握（ジャムボードを活用して教員の意見を集約） ・昨年度の成果と課題をアップデートして検討 ・チャレンジ授業 全ての教員が見せたい授業を見たい教員が見られる。 ・自由進度や個別最適については4つの課題の克服を進めながら検討していく。 <p>【地域との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はばたき地域学習 成果をにしょロボくんへ反映 ・縦割りのたんぽぽタイムに地域の方も入ってもらう。 ・縦割りの遊びに地域の方が加わってもらう。教員と地域とのつながりが成果 →地域の方ではなく、個人としてつながりが生まれていることも成果の1つ ・施設開放 イングリッシュハンドベル（休み時間のコンサート等） ・ヤギの飼育への参加の地域の呼びかけ（地域の方の飼育中にこどもたちが周りで活動しているような様子をイメージ） ・月1回 毎月10日の二小クリーンデーとして除草作業や環境整備のお手伝い ・6/10は20名が参加、溝掃除や草引き 7/10 第2回 <p>【居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の居場所づくりを第一に考えている ・別室「ほんわかルーム」旧第二理科室 ・SSS や人推が担当をしている ・のびのびほっとルームを併用している児童もいる ・オンラインでの授業参加やのびのびの活用、ほんわかルームの活用など様々な対応を行っている ・職員にとっても安心して過ごせるように環境づくりに努めている ・小規模特認校として2名の転入 ・友だちとの関わりも見られるようになってきている。 ・小規模特認校として現地見学から2名の転入があったことは成果
--------------------------------------	---

③前年度と今年度の重点目標

	R5 重点目標	R6 重点目標
生駒小学校	①自ら学び、ともに考え合える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成 ④生駒を愛する子の育成	①自ら学び、ともに考え合える子の育成 ②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成 ③健康でたくましい子の育成 ④生駒を愛する子の育成
生駒南小学校	①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ④その他の課題	①豊かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな身体の育成 ④地域との連携・協働、保幼小中の連携
生駒北小学校	①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ・小中教員の乗り入れ授業、小中合同体制による生徒指導・情報の共有 ・確かな学力 ②伝統文化に触れる学習の充実 ・茶釜の里としての地域性を生かす ・小学校での学習を基とし、各地の伝統文化に親しむ ③家庭や地域と共に歩む学校づくり ・地域教育力の活用	①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ・小中教員の乗り入れ授業、小中合同体制による生徒指導・情報の共有 ・確かな学力 ②伝統文化に触れる学習の充実 ・茶釜の里としての地域性を生かす ・小学校での学習を基とし、各地の伝統文化に親しむ ③家庭や地域と共に歩む学校づくり ・地域教育力の活用
生駒台小学校	①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校	①子どもが輝く学校 ②挑戦する学校 ③信頼される学校
生駒東小学校	①あたたかな学校・学級づくりの推進 仲間に対するあたたかい気持ちを育む ②体力づくりの推進 苦手であっても運動やスポーツが楽しいと感じている ③主体的・対話的で深い学びの実現 主体的に学び、学んだことを活用している ④安全教育の推進 自他の安全を守る意識と行動力が身に付いている	①あたたかな学級・学校づくりの推進 なかまに対するあたたかな気持ちをもっている ②体力づくり活動の推進 苦手であっても運動やスポーツが楽しいと感じている ③主体的・対話的で深い学びの実現 主体的に学び、学んだことを活用している ④安全教育の推進 自他の安全を守る意識と行動力を身につけている

真弓小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①【伝え合う力】あいさつや人とのかかわりを大切にする。 ②【あたたかい力】規範意識の向上と豊かな人間性の育成 ③【考える力】基礎基本の充実と柔軟な発想力 ④【体力づくりの推進】休み時間と体育学習を生かした体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①【伝え合う力】あいさつや人とのかかわりを大切にする。 ②【あたたかい心】規範意識の向上と豊かな人間性の育成 ③【考える力】基礎基本の充実と柔軟な発想力 ④【体力づくりの推進】休み時間と体育学習を生かした体力の向上
俵口小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、指導法の工夫に取り組む。 ②他者と交流しながら、考えを深める力を着実に育てる。 ③筋道を立てて考え表現する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高める。 ④人権尊重の精神を基盤に、児童に関する課題を共有するとともに、全職員でルールの徹底とマナーの育成に取り組む。 ⑤自己の成長を振り返り、よさを認め、実感できる取組を充実させる。 ⑥多様な交流・体験的学習を通して、互いを理解し認め合う大切さを学ばせる。 ⑦話し合い活動を活性化し、自主的・自発的に問題を解決する力を伸ばす。 ⑧集団でのかかわりの場を通して社会性を育て、自己有用感を高める活動を工夫する。 ⑨「体づくり運動」の充実と、体力・運動能力向上の取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、指導法の工夫に取り組む。 ②他者と交流しながら、考えを深める力を着実に育てる。 ③筋道を立てて考え表現する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高める。 ④児童に関する課題を共有し、全職員でルールの徹底とマナーの育成に取り組む。 ⑤自己の成長を振り返り、よさを認め、実感できる取組を充実させる。 ⑥多様な交流・体験的学習を通して、互いを理解し認め合う大切さを学ばせる。 ⑦話し合い活動を活性化し、自主的・自発的に問題を解決する力を伸ばす。 ⑧集団でのかかわりの場を通して社会性を育て、自己有用感を高める活動を工夫する。 ⑨「体づくり運動」の充実と、体力・運動能力向上の取組を進める。
鹿ノ台小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①課題の発見や解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 ②地域と連携した協働活動の充実 ③全ての児童・生徒の心の居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①決まりを守り、優しい気持ちの醸成と自己有用感を高める取り組みの推進 ②多様性への理解や自分らしさを発見し互いに尊重しあう態度の育成 ③児童が主体的に協働して学び、考えを深める学習の推進 ④地域と連携した郷土学習やキャリア教育の推進 ⑤問題行動への組織的な対応 ⑥「鹿小らしさ」についての共有と取り組みの推進
桜ヶ丘小学校	<p>夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 －自立と共生－</p> <ul style="list-style-type: none"> ①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成 	<p>夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 －自立と共生－</p> <ul style="list-style-type: none"> ①深く考える子（確かな学力） ②明るくやさしい子（豊かな心） ③心身ともにたくましい子（健やかな体）

あすか野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的・協働的な学習を通して、「あっそうか」と自ら思考し、表現する力を育成する。 ②すべての子どもが安心して学ぶことができる環境（居場所づくり）を整える ③失敗を恐れずにチャレンジし、つながりを大切にしながら支え合う子の育成に努める ④規律ある行動（挨拶、そうじ、廊下歩行）ができる子を育成する ⑤遊びや運動、学校行事を通じて心身を鍛え、運動に親しむ態度を育成する
壱分小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①学力向上の推進 自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成 ②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成 ③集団づくり、居場所づくりの推進 仲間とともに支え合い、ともに伸びる子どもの育成 ④体力向上の推進 楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む態度の育成 ⑤地域と共にある、開かれた学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①学力向上の推進 探究的に学び合い、自分の思いや考えを進んで表現する児童の育成 ②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる児童の育成 ③集団作り、居場所づくりの推進 仲間とともに支え合い、ともに伸びる児童の育成 ④体力向上の推進 楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む児童の育成 ⑤地域と共にある、開かれた学校づくり
生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①心の居場所づくり ②あいさつをする ③すすんではたらく ④生きて働く知識・技能を高める ⑤出前授業や体験活動を通して学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす 	<ul style="list-style-type: none"> ①心の居場所づくり 個々の違いや多様性を認め合うとともに、自己肯定感を高める。縦割り活動や人権推進の取組を進め、児童が安心して過ごせる場所や心を許せる相手を見つけ、笑顔で学校生活が送れるようにする。 ②進んで本に親しむ 本に親しむ習慣を身につけるための取組を進める。（読み聞かせの充実、読書タイムの設定、お話の木作成など） ③楽しんで体を動かす 外遊びの習慣をつけ、進んで体を動かそうとする気持ちを高める。ボール投げや跳躍力など、児童が意欲的に取組めるような仕掛けを工夫する。

3 中学校

①訪問日時並びに訪問者

生駒中学校	6/21	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、野村指導主事、金指導主事
生駒南中学校	5/22	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、金指導主事、池下指導主事
生駒北中学校	5/8	原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、花山課長、小泉指導主事、池下指導主事
緑ヶ丘中学校	5/22	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、金指導主事、池下指導主事
鹿ノ台中学校	6/20	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、飯島委員、レイノルズ委員、中川委員、吉尾委員、花山課長、中田課長補佐、佐竹主幹、池下指導主事、植田指導主事
上中学校	5/7	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、飯島委員、中川委員、吉尾委員、山本課長、花山課長、三室室長、野村指導主事、植田指導主事
光明中学校	5/7	米倉管理主事、原井教育長、楢田部長、飯島委員、中川委員、吉尾委員、山本課長、花山課長、三室室長、野村指導主事、植田指導主事
大瀬中学校	5/30	原井教育長、中川委員、吉尾委員、中田課長補佐、三室室長、池原係員、小泉指導主事、池下指導主事

②ヒアリング内容

生
駒
中
学
校

<3つの柱>

【授業改革】

- ・ICT機器の活用と主体的対話的で深い学び
- ・夏季休業期間での研修を進める予定だが、画期的になにか変わるかというところがある。少しずつであるが進めていってもらっている。
- ・ICT機器はほとんどの先生が使えるようになっているが、先生の年齢構成が高く、ICT機器の活用が進みにくいことも課題
- ・先生方の培ってきたスキルを生かしながら進めていきたい。新しいものと古いものを組み合わせたい。
- ・県への研修会に参加している教員もあり、各自研鑽を深めている。
- ・特別支援学級の生徒を含めて支援の必要な生徒が多い。個別対応にも教員が時間を割いている。夏季休業期間中の補習や苦手意識のある生徒へのアプローチも熱心。
- ・生徒によっては毎日学習支援を行っている子もいる。生徒のモチベーションを保ちながら努力している。

【地域協働】

- ・学校推進本部と防災に関わる訓練を行う。避難所になっているため、避難所開設に関わる訓練を行った。
- ・学校運営協議会に自治連合会長に入ってもらっており、長期的につながっていけるよう気楽に集まれるような取組を行う。今年度も防災訓練を計画。
- ・校内園芸について、お手伝いしていただいている。
- ・図書室の開放を夏季休業期間に実施。
- ・近隣の認定こども園の園児に午前中に第2グラウンドを開放している。

【居場所づくり】

- ・一人ひとりの個別の案件を拾い上げる。県のアンケート、学校独自のアンケート、教育相談週間においての2者面談において、悩み等を拾い上げている。
- ・校内サポートルーム 毎時間先生方に担当をしてもらって、誰か生徒が来室していたら、支援を行っている。多くの生徒が活用をしていた。昨年度の場所より大きい部屋を用意し、活用している。
- ・運用条件、保護者の理解を得る。保護者が、こどもが使用すると理解した状態で活用。
生徒により、個々の来室ペースで活用しているので、生徒に対してなにかしなければならぬことは求めている。オンラインで授業を受けている。自習。ボードゲーム、支援員と話をするなど様々
- ・1年生は誰も入ってきていない。常時複数名程度利用している。

→課題

- ・保護者の理解もそれぞれ。運営は当初よりも簡単ではないところもある。通級指導、教育支援施設、放課後デイとの連携、情報交換を行っている。子ども主体に考えていきたい。

生駒南中学校	<p>校長先生より</p> <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も重要視していることが子どもたちの基礎学力の向上 ・加配をつけてもらっていることで、20名程度の学級編制で授業が行えている。 ・道徳の授業の公開が成果を上げている。 ・授業の振り返りのメモと意見交流、対話を基に授業力の向上を目指している。 ・ICTの活用で紙・デジタルのどちらでも選べるような実践も増えてきている。理科等 ・小学校での学力向上を受けて、Qubenaを導入しているので、活用を進めていきたい。 ・家庭学習のシラバスを配布。4月の懇談時に担任から保護者へも周知 ・学習内容や評価項目もまとめて配布している。 ・外部人材の活用。うどん作り・近畿大学・奈良先端大など。 ・子どもたちがそれぞれ、興味をもてる分野から学びに繋げていきたい。 <p>【家庭と地域の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域クリーンアップ活動を小中学校合同で行う。 ・小学校のサマースクールに合同で呼びかけて参加する。 ・地域の活動に子どもたちが参加し、連携を進めたい。 ・自治会長と年度末に連携を依頼している。地域も協力的 ・地域の防災訓練の日程に配慮して中学生も参加しやすくしている。 ・HPやXを通した情報発信。 <p>【居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導は複数名あり。 ・特別支援教育に対して中学校の専門的知見が少なく、校内でも遅れを感じていた。意欲のあるコーディネーターを任命し、特別支援教育に対して校内でテコ入れ。研修のあり方などを検討し進めている。 ・命の学習 発表会で劇やポスター、スライドなどで子どもからのプレゼンテーション形式の取り組みを実施 ・昨年度3学期から別室を設置。学校体制として支援を。利用数は少ない。運営方法について改善が必要。 ・少人数なので担任との関係が密になる。→他の教員との関係を築きにくい。起立性障害で利用時間に利用できないなど課題もある。 ・学校の特徴として小学校から中学校へ上がる際に、不登校傾向の生徒が再スタートの意識を持ってきている子が多い。その気持ちを持続させられるよう考えていきたい。 ・特別支援学級在籍生徒にも学校に通いづらくなる生徒もいる。特別支援教育も見直していく必要がある。 <p>放課後デイサービスとも連携を取っている。</p>
--------	---

生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の特長を生かした指導体制。 ・家庭学習の充実。 ・不登校児童生徒への対策。 ・読書活動の推進を進める。 ・家庭や地域との連携。「茶釜の里」という地域性を生かした学習や奈良交通バスとの連携、地域の過去・現在・未来を見据えた学習を柱として。 ・教員の ICT 指導力の向上。 ・3つの柱…アクティブラーニングやペア学習、グループ活動、異学年交流。 ・子どもの自主性を伸ばすには、慌てず、焦らず、我慢して見守ることを職員に伝えていきたい。 ・学習目標の提示をし、可視化に努めている。 ・振り返り活動、自主学習や教え合い活動に力を入れている。 ・地域に開かれた学校…地域の教育力を学校に。子どもたちへの郷土愛を深めたい。 ・学校運営協議会、地域の方に子どもの姿を見ていただく。 ・道徳教育の充実…みんな違って当たり前。多様性。自他尊重の精神。自分事として考え、自分の答えを持つ。そして自分の行動に責任を持つ。 ・不登校、通級、しんどさをもった子どもたちの心に寄り添った指導を。教師は受容と共感を大切に。 ・地域共生社会を目指して…SDGsにも力を入れたい。
緑ヶ丘中学校	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発な意見交流ができ、男女仲良く過ごしている。 ・指導と評価を一体化させていく。 ・教育目標の中で実現していくことで一番難しいことが「粘り強さ」。 ・ICT機器は文房具であることをもとより、まとめたものを素早くフィードバックするなど活用を進めている。 ・外部資源の活用。出前授業や講演会から深い学びに繋げている。 ・美術・音楽では大阪芸術大学の講師、沖縄から伝統芸能に携わる講師を招聘するなど充実。 ・命の授業や性差別に関する授業、防犯教育に関しては複数回実施。警察の協力 ・3年間を通したキャリア教育。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域家庭協働本部はより馴染んできた。 ・今年度はより図書館をパワーアップし、「緑中サロン」地域の方の居場所にしながら防犯体制の強化を目指す。 ・地域の方はどんな場面にも入っていききたい。どんどんアイデアを出して下さっている。 ・情報発信にはカラー刷りを年2版。校長だよりやXを活用 <p>【居場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体といかに連携していくかも検討 ・Gルームを継続して運営。どの時間になっても教員が常駐している環境 ・通級指導教室の充実。通級生徒以外も可能な限り。 ・特別支援学級の生徒とデイサービスの連携。施設見学にも校長が参加。 ・学校教育目標が日々の授業の中に散りばめられているかどうか意識するように指示 ・単元ごとの子どもへのフィードバックや教員のPDCAの短いサイクル ・教科横断的な授業づくりができていくか、などを授業に込めてもらいたいと考えている。 ・若い教員が多い。早くしてミドルリーダーとなった先生たちがベテランの先生の不易を生かしていくことを練りだしていきたい。

鹿ノ台中学校

【様式1】

- ・50代・60代が職員構成の半分近くを占めている。
- ・生駒市子どもの居場所・学び支援室や県のフレキシスクールを利用している生徒もいる
- ・個別最適な学び・協働的な学び、生徒の自尊感情の醸成、保護者や地域との連携、ミドルリーダーの育成・若手教員の育成、教職員の資質向上。
- ・公務支援で業務を削減、ペーパーレスに取り組んでいる
- ・負担が一人にかからないように業務の均一化を図っている 週1回定時退勤日を実施
- ・異動により校内人事や校務分掌の引き継ぎ等に配慮を要した。

【様式2】

- ・読書活動に着手して3年目
- ・教育課程…ICTを活用個別最適な授業を展開している
- ・生徒会活動の活性化。
- ・施設面…肢体不自由学級を設置 手すり、多目的トイレの設置
- ・関係機関と連携を取りながら漏れ落ちる生徒が出ないように気をつけている
- ・地域からの声掛けも多くかけてもらっている。教育目標に合った新しい活動を考えている。
- ・作文コンクールやビブリオバトルへの参加、授業の中で「伝え合う力」の育成に取り組むようにしている。
- ・体力向上…ボールを借りに来る生徒がたくさんいる 放課後は部活動に励んでいる
- ・規範意識…挨拶 委員会が毎週水曜日挨拶活動実施 教員も挨拶を実施
- ・達成感や自己有用感を学校行事の中で感じられるように、主体的に取り組めるように。
- ・制服変更 新1年生から 校則の変更を実施 白靴指定から色指定を外していく考えが生徒会などから上がっている 日々の生活を懸命に取り組む中で実現を目指している
- ・分かる授業づくりを進めていきたい。

【様式6】

- ・目指す学校像…不審者対応の実施を目指している
- ・規範意識…良いところがある、達成感を感じるのアンケートでは数値が上がっている
- ・「させる生徒指導」から「支える生徒指導」へ。生徒の情報共有を密に。
- ・授業づくり…ICT、対話的主体的を実現のために研修等も行っている
少しずつ広がりを見せている 使うだけでなくどのように力がついていくのかが大事ということを教員に伝えている
- ・朝の読み聞かせの推進。小学校で読み聞かせを行っているボランティアに依頼。
- ・環境づくり…生徒会、委員会でエコを意識した活動を行っている
- ・最終下校時間や留守番電話等による教員の働き方改革の推進。

<3つの柱>

【授業づくり】

- ・ICTの活用（6月に研修、11月互見授業）
- ・1年生 キャリア教育プランナーとの連携によるSDGs・環境問題への取組
- ・2年生 職場体験
- ・3年生 U-29と連携したキャリア学習
- ・個別最適な学び、協働的な学び 両方をリンクさせながら授業展開を目指している

	<p>【地域とのつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書部が7月10日に読み聞かせ活動を行う ・校区青少年指導委員共催「生きる力」講演会 ・民生委員さん参加の家庭科の実習補助（裁縫） ・「バンビカフェ」「フォレスト地域包括医支援センター」との共催による参加型「認知症サポーター養成講座」の開催 ・夏休みにふれあいホールの図書室と連携して大人のためのブックトーク開催 ・地域学校協働本部34名の構成員、年3回 ・学校運営協議会14名の構成員、年5回 ・継続中の取り組み 花植活動 絵本お読み聞かせ講習会 学年ごとに週1回読書の時間に地域の方が来てくださっている ・車いすバスケ…講師を招き、車いすを使って体験活動 搬入時、地域の方が協力 ・幼稚園・保育園・こども園での保育体験、エコな材料を使ったおもちゃ作り、幼稚園の運動会練習・当日用のグラウンド開放 ・吹奏楽が地域のまつりに参加 ・美術部がボランティアの方の名札を作っている ・避難所開設訓練…春と秋2回開催。 楽しく学び居心地の良い環境作り ・フレキシスクール・ほっとルーム・フリースクール（寧楽・和草）との連携 ・通級 複数名参加 ・年間3回担任による二者面談 ・地域移行を見据えた部活動 平日はしっかり活動に取り組んでいる ・関係機関との連携 ・主体的に活動に取り組みさせる (行事、ビブリオバトル、生徒会選挙、エコ活動の中で) ・「朝の読み聞かせ」の継続 ・花いっぱい・メダカやホタルの育成・・・情操面での安定に <p>教職員のカラーを活かしながら学校経営をされている</p>
上 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒市の学校教育目標に合わせて、教育目標を変更 ・評価基準、規準について1年間かけて検討をおこなった ・タブレット端末等を活用し、そのように主体的な学びを進めていくのかの検討 ・教科書を学ぶではなく、教科書で学ぶという考えで先生方に授業作りを進めていただいている ・学校運営協議会について、防災教育を地域の方と一緒に、今年度は面接練習などにもご協力いただきたいと考えている ・AIドリルなどを活用し、不登校支援も検討 ・図書館の活用の活性化 大人の読書会を開催 三者懇談時に保護者にも図書室を活用できるように ・不登校対応 まったく学校に来られない生徒もいる。 放課後学習で不登校生徒にも活用 親の会と連携をとりながら支援を行っていきたい ・eスポーツができるように検討している ・eルームの運営についてはシートなども作成しながら行っている ・校長室だよりを活用し、学校の様子を報告している

光明中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・職員構成 男女比 昨年までは男性が多かった 今年度は女性増えた 50代減り20代増 活気がある 不登校支援、基礎学力定着 ICT を生かした授業 ・働き方改革が必要 ・学校評価は PDCA サイクルを活用する ・昨年度から学校目標を変更 職員も取り組んでくれている <p><3つの柱></p> <p>【授業づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育プランナーと連携を密にしている 全学年関わってもらっている ・授業内で実践できるように教職員に研修を行う ・行事を通して自主的自律的活用を行っている <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴衣の着付け体験 ・土日に地域の方と集まって食に関わる→昨年度はうまくいかなかった ・今年は技術家庭科で取り組んでいきたい ・花の活動 ・生駒台小との連携を密にしたい ・校区内で地域スポーツクラブを立ち上げる サッカー部がモデルになっている <p>【多様な場作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内適応教室→不登校対応のために本年度から普通教室を使っている 広い教室にして今後活かしていく ・フレキシスクール、適応指導教室を運営
大瀬中学校	<p><3つの柱></p> <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体での個別最適への取り組みはまだ。先生方の個々の取り組み。 ・オンライン英会話の実施。海外の中学校との交流。 ・職場体験で他校との交流 <p>→個々の授業では様々な取組をしているが、日々の授業の中での個別最適化、共同的な学びへの取組はまだまだ進まない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の働き方改革委員会を立ち上げた。学校全体で取り組んでいきたい。 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会。避難所運営に地域の方と協力して中2が関わっていく。 ・コロナが落ち着き、保育園幼稚園での職場体験を再開していきたい。 ・小中の連携も少しずつだが取り組んでいきたい。 <p>【多様な場作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内サポートルームの設置。 ・長欠が非常に多い。今年度は1年生で全く来れていない生徒はいない状況。 ・2, 3年生もサポートルームを利用や、学年が上がることへの意欲などもあり、不登校傾向が改善している生徒も多い。 ・学校組織の合理化も進めていきたい。

③前年度と今年度の重点目標

	R5 重点目標	R6 重点目標
生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上
生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①わかる授業の構築 ②地域、保護者に信頼される学校づくりの推進 ③豊かな人間性（心）の育成 ④積極的、開発的な生徒指導の推進（いじめ・教育相談活動等） ⑤たくましい心身の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①確かな学力の育成（わかる授業の構築） ②地域、保護者に信頼される学校づくりの推進（学校・保護者・地域との連携） ③豊かな心（人間性）の育成 ④積極的、開発的な生徒指導の推進（いじめ・相談活動等） ⑤健やかな体の育成
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小中教員の乗り入れ授業 ・確かな学力 ②伝統文化に触れる学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・茶釜の里としての地域性を生かす ③家庭や地域と共に歩む学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小中教員の乗り入れ授業 ・確かな学力 ②伝統文化に触れる学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・茶釜の里としての地域性を生かす ③家庭や地域と共に歩む学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の活用
緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携と協働 ⑥組織力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携と協働 ⑥組織力の向上
鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①「主体的・対話的で深い学び」の推進 ②ICTを活用した授業づくり ③読書活動の推進 ④生徒の自尊感情の醸成 ⑤保護者・地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ①個別最適な学び、共同的な学びの推進 ②生徒の自尊感情の醸成 ③学校運営協議会、地域学校共同活動を活用した保護者や地域との連携充実 ④ミドルリーダーの育成、若手教員の育成、教職員の資質向上
上中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①教科指導の充実 ②生徒指導の充実 ③命の教育・人権教育の充実 ④あいさつの推進 ⑤たくましい心身が育つ学校づくりの推進 ⑥環境教育の推進 ⑦地域とともにある学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①自ら学ぶ生徒の育成 ②個別最適な学び、共同的な学びを取り入れた授業の工夫及び改善 ③多様性を認め、人を思いやり尊重する豊かな人間性の育成 ④地域に開かれた学校づくり

光明 中 学 校	①人と人とのつながりを大切にする生徒の育成 ②自主的、自律的に学習する生徒の育成 ③夢の実現に向けて、粘り強く努力する生徒の育成	①不登校支援 ②ICTを活用した授業 ③教職員の働き方改革の推進 ④地域とともにある学校づくりの取り組み
大瀬 中 学 校	①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上 ⑦教職員の働き方改革の推進	①学校安全管理体制の確立 ②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進 ③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実 ④いのちを大切にする心や人権を尊重する教育の充実 ⑤保護者、地域との連携 ⑥組織力の向上 ⑦教職員の働き方改革の推進

住 所 ●●●●●●●●●●●●●●●●

氏 名 長澤 哲也

委嘱期間 令和6年8月1日から令和8年7月31日

住 所 ●●●●●●●●●●

氏 名 山本 純弥

委嘱期間 令和6年8月1日から令和8年7月31日

議案第 19 号

令和 6 年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 5 号の規定により、別冊のとおり提出する。

令和 6 年 7 月 22 日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

